

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

相馬市地方創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福島県相馬市

3 地域再生計画の区域

福島県相馬市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口も 1950 年の 44,375 人をピークに減少しており、38,556 人（2015 年国勢調査結果）まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2060 年には 2015 年比で総人口が約 52%となる見込みである。

人口の減少は、核家族化の進展、出生率の低下、晩婚化に伴う出産年齢の高齢化等を背景とした出生数の減少（自然減）や進学・就職段階での若者の市外への流出（社会減）などが原因と考えられる。

これらの課題を解決するために、地域全体で子育てを支援する体制を構築し、安心して出産・子育てできる環境を整えることで自然増につなげる。また、企業誘致の推進や地元企業の支援、就労・創業支援を行い良質な雇用を創出することで、社会減に歯止めをかける。

さらに、相馬市が相馬市であり続けるために、新たに整備されたスポーツ施設等を観光資源として活用するとともに、震災後の支援等で生まれた姉妹都市、友好都市をはじめとした市町村間での交流を活かし交流人口及び関係人口の拡大を図る。

また、健康寿命を延伸することにより、高齢者が社会に参画し続けられる生涯現役社会の推進を図るとともに、市民一人ひとりが郷土を知り、郷土に愛着を持つことで、地域一丸となり、魅力あふれる相馬市を目指す。

なお、上記取組に当たっては、次の事項を基本目標として掲げ、達成を図っていく。

- ・基本目標 1 良質な産業をつくり、安定した雇用を創出する
- ・基本目標 2 これまでの交流を活かし、新たな人の流れをつくる
- ・基本目標 3 安心な子育て環境をつくり、心豊かなひとを育てる
- ・基本目標 4 生涯現役を目指した健康づくりを推進する
- ・基本目標 5 誇りをもてる「そうま」を伝承する

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (2019年度)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	工業団地内における新規雇 用者数 (単年度)	137人	140人	基本目標 1
イ	観光客入込数 (単年度)	613,657人	700,000人	基本目標 2
ウ	市内年間出生数	262人	300人	基本目標 3
エ	65歳男性 「健康な期間の平均年数」※	17.05年	18.69年	基本目標 4
エ	65歳女性 「健康な期間の平均年数」※	20.18年	23.74年	基本目標 4
オ	郷土に愛着を持つ中学生の 割合 (2019年度・2021年度・2023 年度にアンケートを実施)	63.3%	80.0%	基本目標 5

※ 対象年齢 65 歳の日常生活動作が自立している期間の平均

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する

特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

- ア 良質な産業をつくり、安定した雇用を創出する事業
- イ これまでの交流を活かし、新たな人の流れをつくる事業
- ウ 安心な子育て環境をつくり、心豊かなひとを育てる事業
- エ 生涯現役を目指した健康づくりを推進する事業
- オ 誇りをもてる「そうま」を伝承する事業

② 事業の内容

- ア 良質な産業をつくり、安定した雇用を創出する事業
 - 商店街のにぎわい創出、中核工業団地等への企業誘致、就労支援・創業支援など、商工業の基盤整備と雇用の創造につながる事業
 - 農地の災害復旧と風評の払拭、農業の法人化推進と担い手の育成など、新たな農業の振興につながる事業
 - 本格操業再開へ向けた支援など、水産業の早期再開に向けた事業
- イ これまでの交流を活かし、新たな人の流れをつくる事業
 - 千客万来館を拠点とした観光推進、スポーツ・ツーリズムの推進など、おもてなし体制の構築につながる事業
 - 新たな観光交流の場としての復興施設の利活用する事業
 - 地域間交流による風評の払拭、協定締結都市等との交流連携、そうまのブランド化と情報発信の強化など、交流ネットワークの拡大につながる事業
- ウ 安心な子育て環境をつくり、心豊かなひとを育てる事業
 - 子育て家庭の経済的負担の軽減、相談・支援体制の整備、保健・医療体制の整備、地域ぐるみでの子育て支援、子どもの遊び場確保、婚活支援など安心して子育てができる環境づくりにつながる事業
 - 多様な保育サービスの充実、放課後児童クラブの充実など、保育サービスの充実と放課後児童の健全育成につながる事業

確かな学力の育成と個に応じた指導、生き抜く力を伸ばすキャリア教育の展開、豊かな心を育む情操教育の充実、学校給食を通じた食育の推進など、心豊かに力強く生き抜くひとづくりにつながる事業

エ 生涯現役を目指した健康づくりを推進する事業

高齢者への福祉サービスと生きがいつくり、ひとり暮らし高齢者等の見守り、交通弱者への支援、介護の支援体制の構築など、安心して暮らせるまちづくりにつながる事業

生活習慣病の予防、地域での健康づくりの推進など、健康寿命の延伸につながる事業

オ 誇りをもてる「そうま」を伝承する事業

歴史・文化施設の利活用、伝統文化の保存伝承など、歴史・文化の伝承につながる事業

郷土教育の充実、地域活動の活性化など、郷土愛の醸成につながる事業

※なお、詳細は相馬市地方創生総合戦略 Ver. 2.0 のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

940,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度11月に外部有識者等で構成された相馬市地方創生総合戦略会議で効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに相馬市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで